

## 27年9月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年9月1日～ 27年9月10日

## 2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
9月分の回答企業数は13社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/9月	10月	11月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 27.3	△ 27.3	△ 22.7
	マツ	△ 45.5	△ 36.4	△ 36.4
	広葉樹	△ 34.6	△ 34.6	△ 30.8
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 10.0	△ 20.0	△ 25.0
	マツ	△ 30.0	△ 30.0	△ 30.0
	広葉樹	△ 20.8	△ 25.0	△ 20.8
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 59.1	△ 40.9	△ 30.0
	マツ	△ 59.1	△ 50.0	△ 40.9
	広葉樹	△ 57.7	△ 53.8	△ 46.2

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は3ヵ月連続して減少。

## (2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/9月	10月	11月
スギ・ヒノキ	18.2	13.6	9.1
マツ類	11.1	11.1	11.1
広葉樹	13.6	9.1	9.1

・チップ用国産原木の価格は強含みで推移。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・広葉樹原木は、立木不足で入荷減少、見通し不透明。消費は減少で横ばい。在庫減少続く（東北）。
- ・長雨で入荷量が激減、天候回復待ち。スギは、9月下旬から再生事業管理署の材の入荷でやや増加（東北）。
- ・消費動向は順調だが、材確保が難しく、要望に対応できてない（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・A, B素材の安さのため出材減、入荷減で消費は減少、在庫も減（四国）。
- ・台風被害木もあり、一時的に低質材が入荷、翌月以降は伐採時期であり、公共工事の支障木も入るので仕入は比較的高水準横ばい。消費は、今月から本稼働で増加、その後も出荷要請ありフル稼働で横ばいと予想。在庫は適正水準にする予定（九州）。
- ・仕入は低調に推移、仕入を見ながらの消費（九州）。

## (原木価格)

- ・広葉樹は強含み（東北）。
- ・木質バイオマス材料（スギ間伐）の不足でやや上昇（東北）。
- ・バイオマス発電の買取価格が浸透し、同額以上でない安定した材確保できない（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・変動なし（四国）。
- ・木質バイオマスの影響は、大体天井となり、この価格帯で行くと思う（九州）。
- ・現状維持（九州）。

## 27年9月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/9月	10月	11月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 10.0	△ 25.0	△ 30.0
	マツ類	△ 35.0	△ 35.0	△ 35.0
	広葉樹	△ 33.3	△ 37.5	△ 37.5
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 15.0	△ 25.0	△ 25.0
	マツ類	△ 25.0	△ 20.0	△ 20.0
	広葉樹	△ 20.8	△ 33.3	△ 29.2
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 43.8	△ 43.8	△ 37.5
	マツ類	△ 43.8	△ 43.8	△ 43.8
	広葉樹	△ 44.4	△ 38.9	△ 38.9

・木材チップの生産、出荷及び在庫は3ヵ月連続して減少。

## (2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	27/9月	10月	11月
スギ・ヒノキ類	5.0	0.0	0.0
マツ類	5.0	0.0	0.0
広葉樹	4.2	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は全品目で9月のやや強保合から先行きは横ばい。

## モニターからのコメント

## (木材チップ荷動き)

- ・広葉樹は入荷不足で生産減変わらず。出荷減少は変わらず(東北)
- ・生産減少だが、順調。原木不足が慢性的で供給が制限される。入荷を待っての生産で、在庫は減少(中部)。
- ・変動なし(中国)。
- ・燃料用安定。一般原木入荷減で製紙、ボード用は生産減。出荷も同様。在庫は燃料用やや減少、製紙、ボード用減少(四国)。
- ・製紙用の需要があるのでフル稼働、生産。燃料用は予定通りの数量を出荷(九州)。
- ・原木入荷を見ての生産、計画数量に見合う出荷(九州)。

## (木材チップ価格)

- ・変わらず(東北)
- ・7月に続き、他の製紙会社が買取価格を値上げ(中部)。
- ・変動なし(中国)。
- ・変動なし(四国)。
- ・変わりなし(九州)。
- ・現状維持(九州)。